

# 大岡の風 10 月



令和 8 年 9 月 30 日  
横浜市立大岡小学校  
TEL (711) 0818  
FAX (713) 3563

## 「学びの過程」に目を向けて

副校長 井口 さと子

厳しかった暑さも少しずつ和らぎ、朝夕に秋の訪れを感じる季節となりました。校庭に目を向けると、子どもたちは汗をかきながら元気いっぱいに活動し、教室では落ち着いて学習に取り組む姿が見られます。

10 月は前期の終わり、そして後期の始まりという大切な節目の時期です。子どもたちはこの半年間、日々の学習や学校行事、友だちとの関わりを通して、たくさんの経験を積み重ねてきました。自分の考えを自分の言葉で伝えられるようになったこと、最後まであきらめずに挑戦できたこと、友だちの思いに耳を傾けられるようになったことなど、それぞれに目には見えにくい成長も、本当にたくさんあることと思います。

私たち大人は、子どもたちの成長をつい結果や成果で捉えがちですが、本当に大切なのは、その過程で「どのように考え、どのように努力し、どのように仲間と関わりながら学んできたか」という、その子なりの歩みそのものだと思います。

この時期、学級では、前期の学習や生活を振り返る活動を行います。自分達や自分自身の努力の積み重ねや、学び方について良かったところや課題を共有し、気付くことを大切にしています。それらを自覚することで、「自分はこのように学ぶと解決することができる」「このような工夫が自分の成長につながる」といった学びへの確かな手応えを得ることができます。その手応えは自信となり、次の学習への意欲を高めるとともに、新たな課題に出会った際にも、主体的に取り組もうとする力を育むのだと思います。さらには、「もっと知りたい」「挑戦してみたい」「もっと成長したい」という前向きな意欲を生み出し、後期の学びを支える原動力になります。

ぜひご家庭でも、「何ができるようになったか」だけでなく、「どのように取り組んだのか」「どんな工夫をしたのか」「友達とどのように学び合ったのか」といった学びの過程について話題にしていいただければと思います。子どもたちの努力や成長の過程に目を向け、歩みを認め、価値づける言葉は、子どもたちの自己肯定感や学ぶ意欲を高める大きな力となります。学校と家庭がともに子どもたちの成長を見守り、その歩みを支えていければと願っています。

保護者や地域の皆様には、前期の教育活動へのご理解と温かなご支援をいただき、心より感謝申し上げます。後期も、子どもたち一人ひとりの成長を大切にしながら、教職員一同力を合わせて教育活動を進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 訃報

このたび、本校に 11 年間在職された 紺野 達也先生が、本年 8 月にご逝去されました。

(令和 7 年度より横浜市教育委員会事務局 教職員育成課 指導主事)

在職中は、子どもたち一人ひとりを大切に温かな指導を実践されるとともに、学年経営や校内研究の推進に力を注がれ、本校の教育の発展に大きく貢献されました。そのご功績は本校の歩みの中に確かに息づいております。また、紺野先生の卓越した教育実践と、常に子どもたちに寄り添われた温かなご人格は、多くの保護者の皆様ならびに職員の心に深く刻まれております。

ここに生前のご厚情に深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。